



愛知県教育委員会 瀬瀬知行教育長様

2026年4月24日

請願人 行政を考える住民の会
事務局 宮崎邦彦

連絡先 〒 [REDACTED]
請願

学校行事、特に^泊船を伴う場合や、校外学習等、の参加者、関係者の安全・安心のための見直しを求める、将来的には、^泊船は縮小を求める請願。

請願の趣旨、理由。

- 1 学校事故ゼロ父誓う 浜名湖転覆で犠牲 娘きょう「20歳」
浜名湖ポート転覆事故 2010年6月18日野外活動中だった愛知県豊橋市立章南中の1年生・・・ポート転覆・・・西野花菜さんがおぼれて死亡。(2017年9月26日中日新聞(夕)報道から)

辺野古沖転覆 (注 事故は16日午前10時10分ごろ 中日新聞報道)
転覆2人死亡 学校責任は 辺野古沖事故巡り保護者説明会 生徒の安全確保どこまで検討 (2026年3月25日朝日新聞報道)

これまでの報道を見ると、学校の計画段階から、実施等どうであったかの責任が問われている。

- 2 この(3月25日朝日新聞)報道記事の最後に、
日本スポーツ振興センターによると、2005～2024年度の20年間で、学校行事中の事例で、死亡見舞金を支払ったのは87件、このうち修学旅行は22件、遠足は5件だったとある。

修学旅行は、事故があっっておかしくないということなのか、安全配慮に限界があるといっているのではないかといえる。

- 3 「酷暑日」で警戒呼びかけ(2026年4月18日朝日新聞報道)
40度以上の日の記録・・・25年度だけで30回に上りとある。
- 4 学校行事、前年度の気温の推移を参考にしたら、安全、安心の配慮から、実施日の変更等の検討がなれることが求められる。
- 5 修学旅行も含め野外活動において、「クマの出現」についても天候等同様に、情報把握が求められる。
- 6 文科省・・・被災した場合の行動・・・緊急時の行動について指導を徹底(前記 3月25日朝日新聞)とあるが、天災は全く予測不可能であるといえる。

請願事項

- 1 各学校においては、年間行事について、行事内容、日程について、安全安心

かどうかの検討を再度見直すことを求める。

- 2 特に、^泊宿を伴う修学旅行等については、日程、および、深夜における、生徒の安全、安心は確保されているかどうか、(深夜におけるそれぞれの体調に応じた配慮は無理ではないかとさえいえる。さらに引率職員に過重な負担を負わせていることへの解除も求められる) の検討等を求める。

場合においては、実施計画の縮小も考えることを求める。

さらに(新型コロナ等)感染症予防、ということからすると、集団は無理であるといえる。

- 3 修学旅行等、担当・引率職員について、学校行事全般に言えることでもあるが、計画段階からの、勤務について、長時間勤務にならないようにすること。
- 4 修学旅行等後についての勤務に関する(長時間勤務に対する)対応、を必ず、すること。
- 5 学校行事後、安全、安心の観点から、及び、長時間勤務の点からの、問題点については報告(報告はされていると思うが)をするようにすること。
- 6 学校行事は、不登校生等にとって(学校嫌いも含む)、不登校の、きっかけになったのか、もしくは登校するきっかけになったのかの調査をすること。

口頭意見陳述希望